

YMCA News 78

YMCA日和田高原キャンプ場40周年に思う

名古屋グランパスワイズメンズクラブ 荒川 恭次

今から45年前の1978年4月、名古屋鉄道(株)が所有する土地の一角を新たなキャンプ場予定地として購入することが当時のキャンプ委員会で決定されました。やがてメインロッジ他関連施設の建設が始まり、1983年5月に竹中工務店より名古屋YMCAに建物が引き渡されました。続いてテントエリアも同年7月には完成しました(1992年2月発行「名古屋YMCA90年小史」参照)。以来、今日までの40年間にわたって日和田キャンプ場はその使命を果たしてきています。

さて、名古屋ドーム4個分の敷地面積にあたる429,949㎡の広大な敷地を持つ日和田キャンプ場ですが、不明確になっている実際の土地境界線を確認しようと、去る6月4日に建設当時の境界線を知る元森林組合の方にガイドをお願いして、中村総主事を含むYMCA職員、地形に詳しい地元の方、そして私たちワイズメンとで“境界線確認マーキングツアー”に挑みました。熊笹をかき分けて道なき山道を行くトレッキングで体力の無さを痛感する羽目になりましたが、結果として、今あるキャンプサイトは全敷地のごく一部だということが分かりました。今回の開設40周年を機



に、正確な地図の作成ができればと思っています。

ところで、私と日和田キャンプ場との関係は、1994年からのワイズメンとしての活動に始まり、現在もお標高1400mの別世界で四季を通じて楽しんでいます。この間、1997～2008年の日和田火祭り参加(YMCAコーナー)、2013年5月の開設30周年記念キャンプ、2015年9月の全国YMCAリーダー研修会でのサポートといった行事にも参加し、そして2016年8月からは、新たに始まった学童キャンプでのキッチンサポートを継続しています。

こうして日和田を満喫できるのも、日頃のキャンプ場管理を担っているYMCAスタッフの皆さんのお陰と大変感謝するところです。昨年末から始まった名古屋YMCA120周年記念募金によるメインロッジのトイレ・洗面所の改修工事は完了し快適性を増しました。しかし、40年の経年変化でまだまだやるべき事があります。この40周年を機会として、日和田キャンプ場のこれからに向かって皆さんと一緒に活力を注いでいければと思っています。



日韓ユースセミナー再始動!

日韓国交正常化(1965年)より前の1963年8月に、ソウルYMCAと名古屋YMCAのユース交流は始まりました。このプロジェクトのねらいは、“日韓両国の青少年が心をつなげて交わることを通して、隣国同志でありながら、過去の問題や偏見にとらわれて遠く隔てられてしまった関係を回復し、新しい友好の絆を新しい



2018年の韓国訪問

世代によって築き上げよう”というもので、“YMCAの立場から日韓両国の青少年が理解を深めようと韓国側が招いてくれた”と記録されています。

翌年にはソウルYMCAのユースを受入れ、以後一時中断した時期もありましたが、交互にユースの派遣と受入れを行なって活動を繋いできました。新型コロナウイルスの影響で2020年から3年間は直接の交流を持つことができませんでしたが、ようやく今年から対面での交流を再開することになりました。

隣国に友だちができる、それだけのことから人はその友だちの平和な毎日や幸せを願うようになります。人と人とが直接繋がることの大切さは、私たちの先輩からも学ぶことができます。この学びを自分の学びとして若い世代が体験し、自分の目で見えて感じるものを大切にしてほしいと思います。そして、韓国に大切な友人ができるようなセミナーにしたいと願っています。ぜひユース世代のお知り合いをご紹介します!

(担当スタッフ 遠藤 恵美子)

実施期間: 2023年8月25日(金)~29日(火) 4泊5日

募集定員: 10名

参加要項: 7月初旬ホームページ掲載予定

南山ワイズメンズクラブから 南山ハーベスクラブへ

1970年10月に創設された南山ワイズメンズクラブは、52年余の歴史に幕を下ろし2023年4月から“南山ハーベスクラブ”として生まれ変わりました。国際ワイズメンズクラブには未練がありましたが、メンバーの高齢化などの諸事情によりクラブとしての義務、責任を果たせなくなり、ワイズメンズクラブとしての幕を閉じ、YMCAへの奉仕と地域社会への奉仕を重点に、これまでのメンバーを中心に新しい活動をしていくことになりました。今まで運営してきた農場を中心に新たに「ハーベスクラブ会員制度」を設け、新しい形のYMCA会員活動をするつもりです。なお、6月10日に開催されたワイズメンズクラブ西日本区大会では、南山クラブは、理事特別賞、Yサ(YMCAサービス)優秀賞、地域奉仕環境事業功労賞など数多くの表彰を受け有終の美を飾りました。

今後のYMCAサービスとしては、これまで通り幼稚園、保育園、学習センターなどへの遠足場所の提供、様々なプログラムの提供、YMCA各施設への給食食材の提供、および日和田キャンプや日本語学校への食材提供などをしていきます。また、地域奉仕としては、昭和区内の2つの児童養護施設と緑区内の福祉施設を対



象に、デイキャンプの実施や食材提供を行う予定です。

新たにハーベスクラブ会員を募り、すでに収穫祭、苗付け作業等の生産活動を開始しました。農場には色々な設備を設けてあり、ピザパーティ、BBQ、芋煮会などのプログラムが実施できます。このように、農場を中心とした新しい形のYMCA会員活動が出来ればと思っています。個人単位または家族単位でご参加いただき、四季折々の収穫活動、苗付けなどの生産活動を共に楽しみながらYMCAに繋がってほしいと思っています。また、毎月一度くらいYMCAなどで会合を持ち、色々交流を深めたいと思っています。

(南山ハーベスクラブ会長 荒川 文門)

ご参加希望、その他お問い合わせはこちら

nanzanharvest@gmail.com

報 告

ヨットリーダートレーニング



5月27日から28日に、琵琶湖でヨットリーダートレーニングを行いました。初めてヨットを体験するリーダーも多い中、水辺での安全管理、ロープワーク、艀装などの基礎的なことから、実際にヨットを操縦する際の技術まで、多くのことを学びました。僕自身、実際に初めてヨットに乗ってみて、わからないことだらけでしたが、スピードに乗っているときや上手く方向転換できたときは気持ちよかったです。美味しいご飯を頂いた後は、ロープワークについて復習もしました。今度のアース(高学年からの野外活動グループ)の例会では、リートレでは十分に見ることができなかった朝日を、子どもたちと一緒にヨットから見ることも楽しみのひとつです！

(ぶーちゃんリーダー 城戸 宏輔)

親子であそぼう



かりやYMCA保育園では、6月10日に「親子であそぼう」を行いました。普段の園での遊びを親子で楽しんでもらえるよう、屋内の部屋には「スライム作り」「紙コップ製作」「お話の世界(大型絵本・人形劇)」「リズム遊び」「ボーリングと輪投げ」「魚釣り」の計6カ所を用意し、園庭には「シャボン玉」「缶馬」「タイヤゾーン」などのブースを設け、自由に参加してもらいました。「この材料があれば出来るんですね。家でもやってみます!!」「こんなことも出来るようになったんですね!」「先生やお友だちと楽しそうに関わる姿を見て安心しました。」「家に帰ってからもずっと遊んでいました!」「人形劇のオオカミに食べられる瞬間が衝撃的で楽しかったです。」などと感想を頂き、子どもと保護者はもちろん、保育者ともつながりを深める良い時となりました。

(保育士 森永 有美)

総主事コラム

日和田高原キャンプ場40周年

1972年名古屋YMCA創立70周年を機に、当時所有していた根ノ上・若松・犬山キャンプ場では多様なキャンプニーズに対応できないと「新キャンプサイトの開発」が計画されました。1980年に岐阜県高根村日和田高原の土地429,949㎡(約130,000坪)を購入し、1983年にメインロッジやキャンプサイトなど現キャンプ場が完成しました。それから40年も経つと当時の状況を知るスタッフもいなくなり、キャンプ場の境界を示す杭も、木々の成長に埋もれて所在がわかりません。そこで20年前にキャンプ場を整備していただいた森林組合の方にお願ひし、境界線を辿るハイクを敢行いたしました。広大な敷地を巡るには、道なき道を進み、藪を掻き分け、沢を渡り、想像以上にハードです。山のプロである森林組合の方はいともたやすく山を駆け巡られますが、素人には過酷な行程。休み休みついていくのが精一杯です。それでも半日

をかけ、東京ドーム約9個分の敷地を確認することができました。

1960年代から環境問題が顕在化し、4大公害病(イタイタイ病、水俣病、新潟水俣病、四日市ぜんそく)は、大きな社会問題となりました。1970年代にかけて、大気汚染や水質汚濁、騒音・振動、悪臭などの多くの公害対策に関する法律が整備され対策が進められました。日本で環境教育が積極的に導入されたのが1970年代、戦後の荒廃した森林資源を急ぎ回復するために植林された針葉樹林の維持管理が難しくなり、補助金を用いた枝打ち・間伐などが環境保全のトレンドであったと記憶しています。それが今では花粉症の原因として悪者(物)扱いです。日本の国土の70%は森林です。その森林の内40%近くがスギ、ヒノキなど針葉樹の人工林。神様が創造された偉大な自然環境に、人が手を加える事などできるはずもなく、自然の叡智から学ぶ姿勢が大切だとキャンプ場は語りかけています。

(中村 隆)

公開講演会のご案内

名古屋YMCAも構成団体になっている名古屋キリスト教協議会主催による、2023年度公開講演会が実施されます。講師は「反骨の弁護士」こと内河恵一（うちかわ よしかず）さんです。中日新聞に、裁判活動を軸にした内河さんの半生が約一年にわたって「ひまわりと羊」という記事で連載されていたので、ご存じの方も多いかと思えます。常に弱者の嘆きに心を寄せてこられたその生き方は、キリスト教徒としての一貫した愛と奉仕の生き方なのだと思います。

昨今地元で起こっている人権をめぐる問題を考えるもよし、あるいはクリスチアンの生き方を考えるもよし、一人ひとり異なる学びの機会となれば幸いです。予約なしでどなたでも参加できますので、ぜひご来場をお待ちしています。

日時：2023年7月23日(日)

14:30～16:30(14:00開場)

場所：日本基督教団名古屋教会

(名古屋市中区丸の内3-4-5)

*名古屋城駅または久屋大通駅下車4分

名古屋キリスト教協議会
2023年度公開講演会

**聖書に
つまづき
聖書に
導かれて**

講師 内河 恵一／弁護士

**入場
無料**

事前申込不要

弱者の嘆きに心を寄せてきた「反骨の弁護士」こと内河弁護士。その生き方が、約1年に亘り中日新聞で「ひまわりと羊」として連載されました。2023年度のNCCの公開講演会は、内河弁護士をお迎えして、新聞には掲載できなかったことも含めてお話しいたします。

2023年
7月23日 日

開場 14:00～

講演会 14:30～16:30

日本基督教団 名古屋教会
名古屋市中区丸の内3-4-5
当日連絡先: 052-971-4940

地下鉄名城線名古屋城駅4番出口南へ徒歩4分 地鉄市内の駐車スペースはお使いいただけません。公共交通機関でお出かけください。

うちかわ・よしかず
内河 恵一さんプロフィール
恵沢法律事務所 / 所長

1938年 浜松市で生まれ
中学卒業後、そば屋、中学校、高校等で勤務後
1960年上京、宣教師事務所事務員勤務
8つ目の仕事として1970年名古屋で弁護士開業

<主な裁判活動>
四日市公害訴訟、名古屋新幹線公害訴訟、林訴訟、自衛隊イラク派兵禁止訴訟、朝鮮女子勤労挺身隊訴訟、朝鮮高校無償化訴訟、生存権訴訟、沖縄高江基地拡張計画訴訟、成年後見・被保護人欠格訴訟、名古屋教会幼稚園日照等環境訴訟、安永法廷連署訴訟

<教会歴>
定時制高校2年の12月、三ヶ日ルーテル教会にて受洗
それ以来現在に至るまでルーテル教会の会員を続けている

主催・問い合わせ
名古屋キリスト教協議会
052-762-8363 (名古屋キリスト教協議会)
abe-naosuzu@hotmail.co.jp

維持会員感謝・ご寄付感謝 (2023年5月21日～6月21日)

維持会員(継続)

浦田 健治	鈴木誠一郎	寺本 英郎	伊藤 暢浩
土屋 淑子	小澤 幸男	永田 春香	水野かきつ
馬場美菜子	鷲尾 文夫	平尾 泉	杉山 弘時
三口 妙子	池田 晃平	吉田 一誠	吉田あま子

賛助会員(継続)

東海窯業原料株式会社 学校法人金城学院
六合株式会社 タイガー総業株式会社

寄付金・募金

(一般寄付金)

株式会社サンケイリアルエステート
旧ブラザワイズメンズクラブ

早天祈禱会

日 時 7月4日(火) 7:45～8:30
会 場 名古屋YMCA5Fチャペル
奨 励 名古屋学院大学 澤村雅史氏(准教授・牧師)
説教題『やくにたつ』ということ

ワイズコーナー 7月例会の予定

名古屋	7月11日(火) 19:00～	総会	名古屋YMCA
名古屋 東海	7月 1日(土) 18:45～	裸の会 (年次総会)	名古屋YMCA
名古屋 グランパス	7月 1日(土) ～2日(日)	1泊例会	蒲郡市

お問い合わせ

名古屋YMCA	052-757-3331
YMCAこひつじ保育室	052-757-5530
南山ファミリーYMCA	052-831-6968
南山幼稚園	052-831-8271
神沢ファミリーYMCA	052-879-6300
YMCAかみさわ保育園	052-879-6222
名古屋YMCA日本語学院	052-531-0077
発達サポートYMCAつるさと	052-823-2021
かりやYMCA保育園	0566-62-8227

<https://nagoyaymca.org>



名古屋YMCA 使命

「名古屋YMCAは、キリスト教精神に基づき、すべての人びとに、生涯にわたる学習の場と、社会参加の機会を提供し、相互の交わりと連帯を通して、共に生きる世界の実現を目指します。」

2023年度聖句

「見よ、新しいことをわたしは行う。
今や、それは芽生えている。」
(イザヤ書43章19節)